

さあ、冬休みです！！！

いよいよ、24日から冬休みです。2学期はどうでしたか？充実したものでしたか？いろいろな活動や行事を通して、みなさんの成長を感じることができたことを、私はとてもうれしく思っています。今年1年振り返って、この WELLBEING にのせた想いは、シンプルにまとめると、「成長のためには、努力が必要である。その努力は継続されてこそ、努力である。さらに、構えとなる心が成長には不可欠であり、強制や義務を越えたポジティブな意志と実行力が絶対的に必要である。」ということを考えています。

いろいろな場面で、「やらなければいけないこと」「やってはいけないこと」「やった方がいいこと」「やらない方がいいこと」の話をしました。もちろん、周りに流されたり、一時の感情に流されたりしてそうではない部分も正直見られました。例えば、普段の部活動の様子。例えば、テスト前の部活動定休日の様子。——日常の部活動の様子を見ても、それぞれの部活動やそこにいる個人で温度差があるなあ～って感じてしまう時もあります。しかし、そんな中でも「好き・嫌い」とは違う「良い・悪い」といった、別の判断基準（自分のものさし）が芽生えてきた人もいることも事実です。——つまり上の部分に書いた「成長ために必ず必要な構えとなる心」が育まれてきている人です。そんな人は、自分の可能性を信じられるはずです。そして、自分が好きになります。不平・不満を言ってばかりいたり、さぼっていたり、するやごまかしをしている人は、間違いなく自分のことが好きになれるとは言えないと思います。

1年前の自分（昨年の今頃、自分はどうだった？）と比べて成長したと感じる人は、絶対に自分のことが好きになっていることでしょう。自分のことが好きな人が、相手のことが好きになれる、つまり思いやりの心がもてます。

さあ、2025年の最後の生活チェックの3つの項目は、「今日は頑張っている」と言える、「今日は昨日より成長した」と言える、「自分のことが好きだ」と言える、です。みなさんはどう自分を評価しますか？？そしてどんな成長を自分に期待しますか？

さて、1年の大切な節目（=ステップアップ）がはっきり見られる冬休みが始まります。「事故0、ケガ0、非行0」は、当たり前のこともかもしれません。さらに、「自分の夢・可能性を育む努力をすること」も大好きな自分になるためにとっても大切なことです。これを読んで、当たり前のことだよなあ～って思ったかもしれません。そうです、当たり前のことが当たり前にできる人になろうってことです。ただ、「思っていた・考えていた」は自分への甘さの象徴です。「行動する・実践すること」がいま求められていることです。信じています。——そして、冬休みは家族との時間がたっぷりあります。ぜひ、家族時間を大切にしてくださいね。私も、今年の冬休みこそ（！？）、仕事もたまっていますが、大切にしたいと願っています。1月8日（木）に、みんなの元気な笑顔と冬休みの楽しいお話を待っています。※冬休みの生活については、別紙を参照してください。



新年の干支に思う

～火の勢いが未来を動かす年～

新しい1年を迎えると、皆さんもどこかワクワクした気持ちになるのではないでしょうか。2025年は世界でも日本でも、社会が少しずつ動き出しているような変化がありました。古い考え方や仕組みを見直そうという動きが広がり、まさに次の時代への準備が進んだ年でした。

2026年（令和8年）の干支は丙午（ひのえ・うま）、いわゆる「うま年」です。干支には、それぞれ意味があります。ここでは、安岡正篤先生の干支学を参考に、その象徴するところを紹介し、この一年をどう過ごすかのヒントにしてほしいと思います。

■「丙」…力が表にあらわれる時

干（え）の「丙」は、“はっきりと姿があらわれる”“力が外に向かって伸びる”という意味があります。火が大きく燃え上るように、これまで準備してきたことが実際の形となって動き出す時期を表しています。

■「午」…勢いとぶつかり合い

支（し）の「午」には、物事が勢いを増す一方で、反発や対立なども起きやすいという意味があります。エネルギーが強くなるからこそ、ぶつかり合いも生まれる——そんな象徴です。

■丙午とは？

この二つが合わさった丙午の年は、「勢いが強く、変化が大きい。前に進む力がある一方で、乗り越えるべき壁も出てくる」という年だと考えられています。

■ちょっと歴史から見る“午”の年（受験勉強のついでにどうぞ）

●130年前の明治27年（1894年）

この頃、日本は外国との条約を改正し、世界の国々と対等に付き合える近代国家への一步を踏み出していました。一方、当時の朝鮮半島では政治が不安定で、清国（中国）が内政に干渉していました。そこに甲午農民戦争（東学党の乱）が起き、全州が占領されます。これがきっかけで、日清戦争が始まった年です。

●また、70年前の甲午（昭和29年・1954年）

この年、政府は学校での政治的な偏った教育を正すため、「教育二法案」という法律を国会に出しました。しかし、これに反対した日教組は一斉休暇闘争という大きな抗議行動を行いました。社会全体でも対立が強まり、ストライキが多く起きて国内は混乱しました。その中でも政府は国を立て直すため、防衛庁の設置、自衛隊の発足、新しい警察法の施行など、国の安全や教育の仕組みを整えてきました。産業も活発になり、政治の世界では日本民主党が結成されました。年末には吉田内閣が退き、鳩山一郎内閣が新しく誕生した年でもあります。

■歴史から学ぶ…この2026年をどう生きるか

今年の丙午は、変化も課題もたくさん起くる年になるかもしれません。しかし、丙午が教えてくれるのは、「勢いを恐れず、自分の力を信じて進めば大きく飛躍できる」ということです。これまで積み上げてきた努力が形になる年です。周りの変化に振り回されず、自分の役割や目標をしっかりともって進むことが大切です。2026年が、皆さんにとって大きく成長し、未来への一歩を力強く踏み出す年になりますよう、心から願っています。

